

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	太幡 直也 (たばた なおや)	所属	愛知学院大学 総合政策学部
研究会等名称	欺瞞的コミュニケーション研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数</p> <p>第 23 回研究集会 (日本心理学会第 87 大会公募シンポジウム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員 3 名 (うち認定心理士 0 名) ・非会員 3 名 (うち認定心理士 0 名) ・その他、オンデマンド動画を視聴した参加者多数 <p>第 24 回研究集会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員 4 名 (うち認定心理士 0 名) ・非会員 1 名 (うち認定心理士 0 名) <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>本研究会は、欺瞞や隠蔽など、欺瞞的コミュニケーションに関する研究に関心のある研究者が、研究発表、議論を行うことを目的として、2011 年 9 月に発足した。</p> <p>本年度は以下の研究集会を実施した。</p> <p><第 23 回研究集会 (2023 年 9 月 15 日～10 月 17 日) ></p> <p>シンポジウム題目: 「隠す」心理を科学するーインターネット上での「隠す」心理ー</p> <p>企画者: 太幡 直也 (愛知学院大学)、佐藤 拓 (明星大学)</p> <p>話題提供者: 佐藤 広英 (信州大学)、笹原 和俊 (東京工業大学)、藤原 佑貴 (科学警察研究所)</p> <p>指定討論者: 村井 潤一郎 (文京学院大学)</p> <p>概要: インターネット上での「隠す」心理に着目し、関連する現象を紹介した研究を取り上げるシンポジウムを実施した。最初に、ユーザーとしての「隠す」心理の特徴として、インターネット上の情報プライバシー (佐藤) に関する研究を紹介した。続いて、「隠す」行為が付随すると考えられるネット特有の現象として、フェイクニュース (笹原)、グルーミングによる自撮り要求とその被害 (藤原) に関する研究を紹介した。最後に、総合的な議論において、インターネット上での「隠す」心理に関する今後の研究の展望について議論した。</p> <p><第 24 回研究集会 (2023 年 9 月 24 日) ></p> <p>概要: 第 23 回研究集会の主題であった「インターネット上での『隠す』心理」というテーマについて、参加者で更なる議論を行い、対面とインターネット上の欺瞞的コミュニケーションの類似点と相違点についてさらなる議論を行うことができた。</p>		

(様式5)

2024年 2月 25日

日本心理学会研究会 2023年度会計報告書

研究会名称 欺瞞的コミュニケーション研究会

研究会番号 23019

助成金額 ¥0

年月日	項目	金額
-----	----	----

支出合計		¥0
------	--	----